

新型コロナウイルス感染症対策の現状報告について

(令和4年12月17日以降)

1 感染の状況等

新規感染者数については、全国的に減少傾向が継続しているものの、今後の免疫の減衰や、より免疫逃避が起こる可能性のある株の割合の増加、また、中国における感染状況及び国内への流入等にも注意が必要となっています。

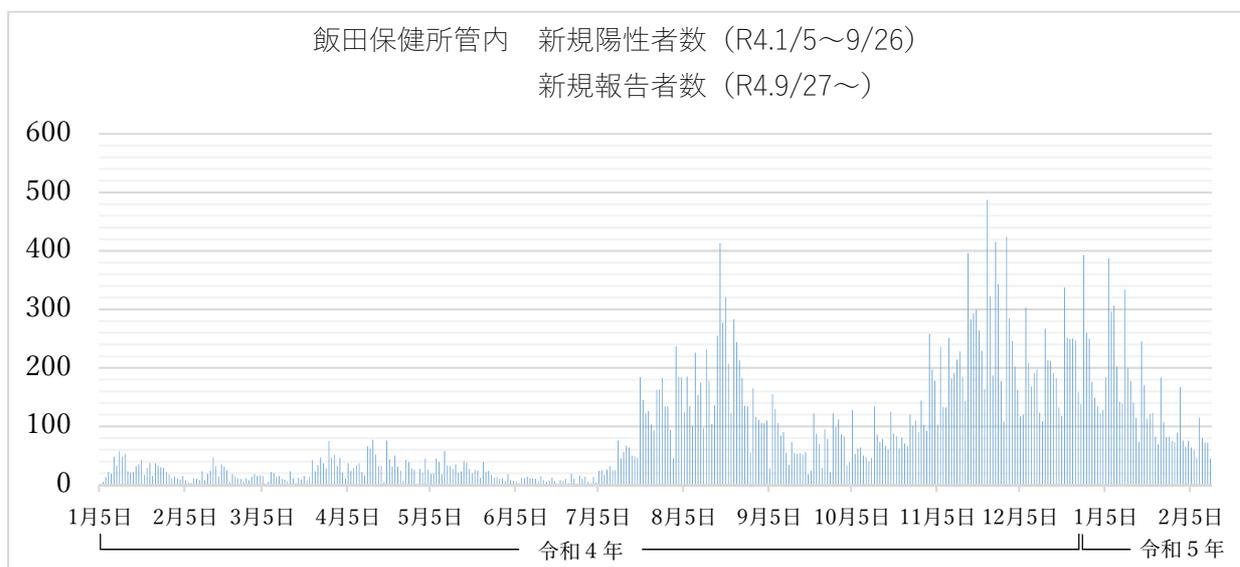
国内では現在 BA.5 系統が主流となっていますが、BQ.1 系統や XBB 系統などのオミクロン株の亜系統、特に米国中心に報告されている XBB.1.5 は、より免疫逃避が起こる可能性があるとして、海外で感染者数増加の優位性が指摘されています。特に BQ.1 系統は国内で割合が増加しつつあり、注視する必要があります。

当圏域では、1月上旬をピークとして新規陽性者数は減少しています。11月4日から当圏域の長野県の感染警戒レベルは5でしたが、1月30日にはレベル4に、2月15日にはレベル3に引き下げられました。また県内の病床使用率も20%台となり、医療アラートは解除されました。また、重症病床使用率も低下しています。

国は、令和5年5月8日をもって第2類相当から第5類への変更する方針を示していますが、足下においては引き続き、感染状況を注視していく必要があります。

季節性インフルエンザについては、全国では流行の兆しが見えていますが、当圏域については、1月9日～15日には定点観測で10.00(注意報レベル)になったものの、翌週の1月16日～22日は10.43、1月23日～29日は9.43と下降してきており、今後大幅な同時流行が生じる可能性は低いとみています。

置き換わりが進んでいるといわれる BQ.1 系統や XBB 系統などの新たな変異株の検出状況等を注視すると共に、季節性インフルエンザとの同時流行への備えに加え、ワクチン接種の促進など、引き続き医療ひっ迫を起こさないための対策が必要とされています。



2 感染対策

○簡易検査キット配布事業の実施状況

- ・市民向け一般配布

配布期間		種 別	個 人	団 体
第1弾 3.6.21～3.7.16	件 数	1,140 件	1,052 件	88 件
	個 数	4,923 個	3,557 個	1,366 個
第2弾 3.8.4～4.3.23	件 数	28,422 件	27,194 件	1,228 件
	個 数	149,726 個	91,442 個	57,284 個
第3弾 4.3.30～5.1.9	件 数	100,387 件	98,928 件	1,459 件
	個 数	450,358 個	389,568 個	60,790 個
第1弾～第3弾 合計	件数合計	129,949 件	127,174 件	2,775 件
	個数合計	605,007 個	484,567 個	119,440 個

- ・別添資料4-2、4-3のとおり

○保育園などの状況（12月18日～2月13日）

- ・休園 45園中 5園
- ・一部休園 のべ 39園

○小中学校の状況（12月18日～2月15日）

- ・休校 0校
- ・学年・学級閉鎖 48校中 13校のべ 34学級（インフルエンザ等での学級閉鎖含む）

○児童クラブなどの状況（12月18日～2月15日）

- ・休所 24施設中 0施設

3 事業者等への支援

○市民の生活・経済活動を支える公共交通を維持するための交通事業者支援

支給件数 8事業者 32,956千円（1月27日現在）

○肥料価格高騰緊急対策事業補助金の交付による農家の経営基盤強化支援

支給件数 159件 6,110千円（2月13日現在 2月末まで申請受付）

○畜産経営継続支援事業補助金の交付による畜産事業者の経営継続支援

支給件数 55件 19,547千円（2月13日現在 実績確定）

○宿泊施設燃料価格高騰対策事業補助金の交付による宿泊事業者の事業継続支援

支給件数 46件 20,767千円（2月13日現在）

○飯田市プレミアム電子商品券事業

販売総枚数 55,994枚 額面総額 335,964千円（12月31日で終了）

○きのこ生産者への事業継続支援

支給件数 0件 0千円（2月13日現在 2月末まで申請受付）

○社会福祉事業者への経営安定支援（2月13日現在）

支給件数 103件 59,104千円

○移送サービス事業者への支援を通じた障がい者等の移動手段の確保（1月31日現在）

支給件数 1件 1,200千円

4 生活支援

- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付
支給件数 90 世帯 22,360 千円 (2月13日現在)
- 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の給付
支給件数 8,590 件 859,000 千円 (2月13日現在)
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の給付
支給件数 7,529 件 376,450 千円 (2月13日現在)
- 生活困窮世帯緊急支援金の給付
支給件数 1,850 件 55,500 千円 (2月13日現在)
- 原油価格・物価高騰対策生活応援給付金の給付
支給件数 9,732 件 97,320 千円 (2月13日現在)
- 保育所等の副食費一部補助による子育て世帯支援
支給件数 53 件 4,974 千円 (2月13日現在)
- 学校給食費の一部補助による子育て世帯支援
支給件数 6 団体 21,833 千円 (2月13日現在)
- 校外活動延期への支援 (修学旅行キャンセル料等補助)
支給件数 10 校 2,588 千円 (2月13日現在)

5 ワクチン接種

- ワクチン接種数 (2/13日現在 VRS 登録値。分母は、令和4年1月1日現在飯田市人口 98,385 人)
 - 1 回目接種 83,644 人 (85.0%)
 - 2 回目接種 83,261 人 (84.6%)
 - 3 回目接種 70,494 人 (71.7%)
 - 4 回目接種 51,116 人 (52.0%)
 - 5 回目接種 25,687 人 (26.1%)上記 (3 回目接種以降) のうちオミクロン株対応ワクチンの接種 47,812 人 (48.6%)
- 実施状況 (令和5年1月30日現在)
 - オミクロン株対応ワクチン (12 歳以上)
 - ・ 12 歳以上の初回 (1・2 回目) 接種完了者で、前回接種から 3 ヶ月以上経過した者が対象 (ただし、オミクロン株対応ワクチンの接種は 1 回限り)
 - 小児接種 (5 歳～11 歳)
 - ・ 初回 (1・2 回目) 接種完了後、5 ヶ月以上経過した児に 3 回目接種を実施
 - ・ 初回接種、3 回目接種ともに、同じ小児用ワクチンにより実施
 - 乳幼児接種 (生後 6 ヶ月～4 歳)
 - ・ 乳幼児用ワクチンにより接種
 - ・ 初回接種において、3 回の接種を行う
- 接種会場

- ・ 現在は集団接種会場に集約して実施
- ・ 小児・乳幼児接種は6つの医療機関で実施

6 検査体制

○地域外来・検査センター実績（令和4年12月～令和5年2月）

	検体採取数（件）	陽性数（件）
12月	203	131
1月	94	56
2月	13	4
合計	310	191

（令和5年2月10日現在）

7 広報体制（以下の広報媒体で市民へ注意喚起、啓発等）

- ・ You Tube、Facebook、飯田ケーブルテレビ、南信州新聞による市長メッセージ配信
- ・ 市公式 web サイト（感染症専門ページ、市長メッセージ動画、地域外来・検査センター検査状況等）
- ・ インフルコロナ同時流行に係るチラシ作成（全戸配布、医療機関等に配布）